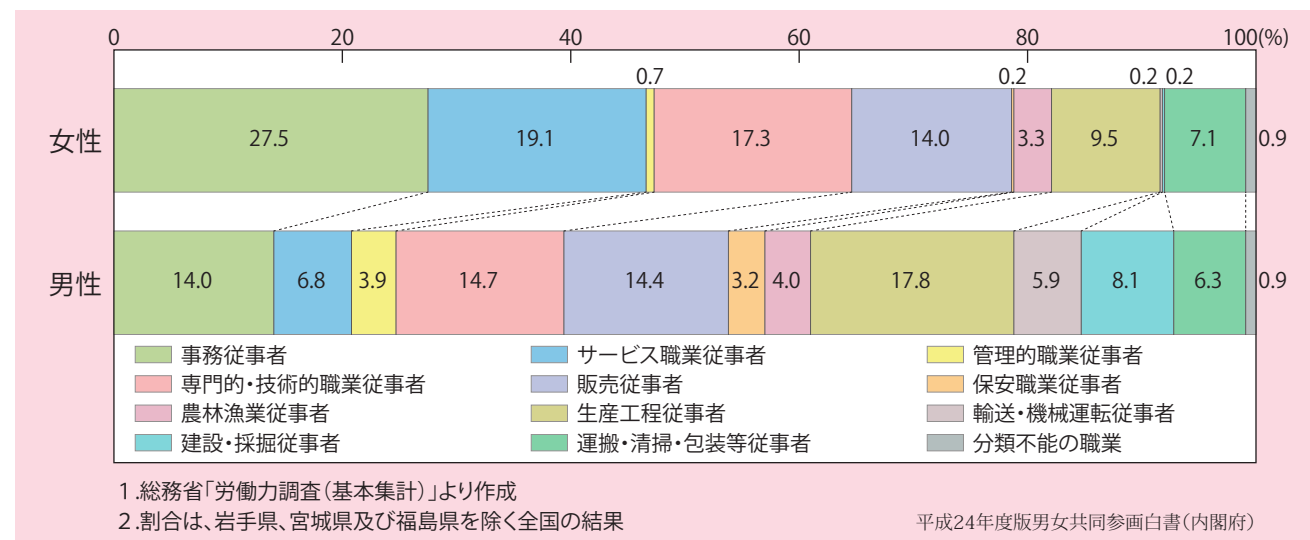


自分らしく生きる

「自分らしく生きる」ことを大切にしよう

みなさんは自分の将来の夢に向かってがんばっていることと思います。そのような生活の中で、「男だから泣いてはいけない。」「女だから乱暴な言葉をつかってはいけない。」のように、「男だから」「女だから」と言われたことはないでしょうか。また、「本当は、こうしたいのに、女だから・・・。」とあきらめたり、「男がこんなことしたら、笑われるかな。」と不安に思ったりしたことはないでしょうか。そんなときと「男」「女」といった性別ではなく、「自分自身を見てほしい。」「自分らしさを発揮したい。」と思うことでしょうか。みなさん一人ひとりに「こんなことをしてみたい。」という夢や希望があると思います。それを大切にしてほしいと思います。

図1 職業別就業者構成比（男女別、平成23年）



個性や能力を発揮できる 進路・職業を選択しよう

「大人になったらどのような職業につきたいと思っていますか。」とたずねられたら、あなたはどのように答えますか。医師・エンジニア・会社員・デザイナー・調理師・看護師・先生など、きっといろいろな職業が思い浮かぶことでしょう。進路や職業について考える時、何年後かの自分の姿を思い描くことは楽しいものです。しかし、具体的な職業について「男の職業」「女の職業」といった区別をした経験はないでしょうか。〈図1〉は、男女の職業について調査したものです。これを見て、思ったことを話し合ってみましょう。進路や職業について考える時に、性別よりもまず、自分の個性や能力、得意なことを思い浮かべ、自分らしい選択や行動ができるとよいと思います。

「自分らしさを生かす」生活をしよう

みなさんは、一日のうちの多くの時間を学校で過ごしています。そして、その学校生活の中で、いろいろな役割や仕事を任されていると思います。例えば、学級での当番・係・班長などや、学校での生徒会役員・部長・委員などです。みなさんは、その役割や仕事をどのような思いで行っていますか。「めんどうだ。」「やりたくない。」と思う人もいれば、「がんばろう。」「自分たちが使う教室をきれいにするのは当然だ。」と思う人もいるでしょう。中には、「自分以外のだれかがやればよい。」「女子がやればよい。」「男子がやればよい。」と思うこともあるのではないのでしょうか。学校は、みなさん一人ひとりの力が集まってこそ、よりよくなっていきます。それぞれがもっている個性や能力を十分発揮することが、楽しい学校生活につながり、それが「自分らしさを生かす」ことにもなります。

「男」「女」といった性別ではなく、一人ひとりが「自分の役割」を果たしていきましょう。

メモ

自分らしく生きる